

事業所における自己評価表

有限会社どれみ どれみBase

公表:2026年 4月 4日

事業所名 どれみBase

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善を進めるため、全職員がミーティングを実施しています。	
	⑤	保護者等の向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様に事業所の評価をしていただきました。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やページ等で公開しているか	○			ホームページで公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部の方が頻繁に出入りすることで、事業所内の状況や状態を知っていただいています。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内のみ職員の研修を行い、専門性を高めるように努めています。施設長からその都度、支援について話す機会も設けています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			アセスメントの仕方を再検討しています。支援者の誰でもできるアセスメントツールを作成中です。	
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		以前まで活用していたシートをお子さま達の実態に合わせて変更している最中です。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムの立案を全員で話し合い行っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			利用児の能力や特性に応じてプログラムの立案を適宜変更しながら進めています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇には、社会のルールやマナーを知るため、体験活動を多く企画しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて個別支援計画を作成しているか	○			来所するお子さま達に応じて、ルールの変更や工夫をして取り組んでいます。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日打ち合わせを行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後だけではなく、支援前・支援中等、適宜支援者間で話し合いながら支援をしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○			HUG(当社使用の成長療育システム)を使用。記入の視点なども交流しています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月を目安にモニタリングや計画の見直しについて、取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、管理者と児童発達支援管理責任者が参加し、交流を図っています。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各学校のCoや担任・担当と連携を取りながら、進めています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	—	—	—		対象児なし

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援センターから情報収集し、お子さまの実態把握等を行っています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—		対象児なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、連携しています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			
	㉗	(地域自立支援)協議会等への参加しているか		○			弊社役員が協議会の役員を担っており、必要な事項は当事業所を含め社内各事業所に共有されています。また、協議会主催の研修会等には適宜参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			HUGシステム等のメールでのやりとりや電話、送迎時のお話し等を通じて、お子さまの状況について共通理解ができるように努めています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			事業所見学時や契約時に説明しています。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様からの連絡で、適宜助言や支援の提案等をしています。	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			全事業所保護者様対象の「茶話会」を開催し、情報交流をしています。	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもの保護者に対して発信しているか	○			HUGシステムを活用し、活動の様子を掲載しています。	
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○				
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、絵やイラストを用いて、行程表やスケジュール表を活用し、理解しやすいように工夫しています。	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			適宜、改定をしています。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、様々なシチュエーションを想定し、避難訓練に取り組んでいます。	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			お子さまへの理解等、専門性を高めるような研修会を定期的に事業所内で行っています。	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで個別支援計画に記載しているか		○		契約や面談時を利用し、身体拘束について保護者に説明しています。	
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○				
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有されているか	○			月に1回ヒヤリハットを記載し、日々の気付きに活用しています。		